

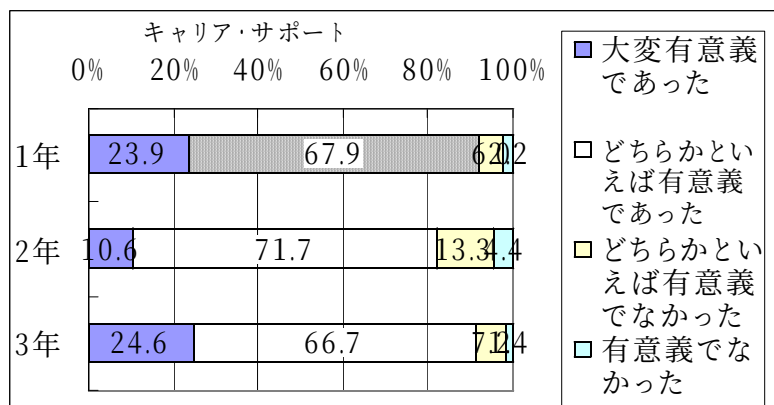
パイロット・ハイスクール事業に対する生徒による評価

調査日時

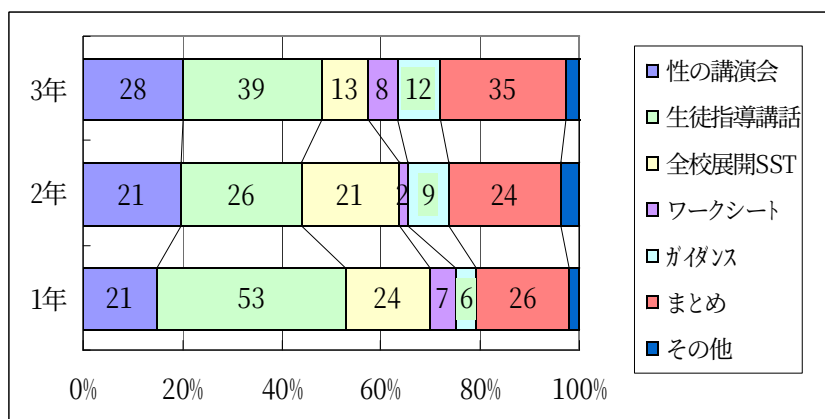
1・2年 平成20年2月14日

3年 平成20年1月17日

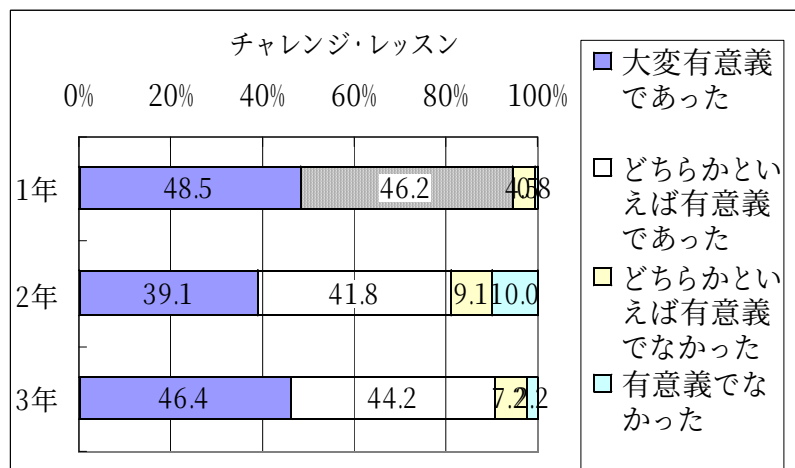
キャリア・サポートプログラムに対する評価



キャリア・サポートプログラムにおける最も印象に残ったプログラム



チャレンジ・レッスンに対する評価



「キャリアサポートプログラム」生徒感想

- 心を強く打ったのは「さやかと元気」（猿の親子の物語）でした。両手が使え無いながら、懸命に生きる母親の姿に涙が止まりませんでした。支え合う「社会」の大切さを強く学びました。そして、社会性の意味がよくわかりました。自己中心的に考えるのではなく、周りの意見を聞いて、みんながよくなっていくことが大切だと思いました。
- 全校展開 S S T では、（聞くときの表情など）当たり前で簡単なことだという印象があったが、実生活の中で実践できているかと振り返ったら、そうでない自分に気がついた。笑顔は大切。
- 自転車による事故の可能性が、毎日の生活と直結してることを、改めて認識させられた。そして、その悲惨さを突きつけられて、恐怖感さえ覚えた。命の大切さについて力説されて、講演者の思いが伝わってきた。
- 日本人の性に対するだらしなさを知り、何とも言えず腹がたち、同時に情けなくなった。講師の先生の話はいつも考えさせられ、感動させられる。

「チャレンジレッスン」 生徒感想 （学習の雰囲気が伝わるものを一部あげています。）

- 浦安の歴史、そして、昔の生活を実際に体験した。学校外で学習することも楽しかったし、自転車で市内を走ったときの風を今でも思い出す。時間がもっと欲しかった。ベーゴマでは負けない。
- 最近、話題となっている株価の変動などの仕組みなど楽しく理解した。実際の売買のシミュレーションで、利益を上げることが出来た。
- 大学受験の英単語は洋楽を聴いたり、単語 5 回書きをしたり、間違い探しなど、授業とは違ういろいろな方法の学習でばっちり単語力をつけました。
- 人間関係の能力は大切だと思って選択したが楽しかった。実際（ロールプレイ）を見るとわかりやすく、先生の見本も楽しく、本当にやりがいがあった。
- 毎回の授業が楽しく有意義だった。特に、パズルを友達と協力して作業する中で、語り合うことが出来た。
- 日本人として、単純に、百人一首のやり方を知らないなんて情けない。実は私もチャレンジレッスンを通して初めて知りました。楽しいです。絶対、うちでやろう！
- みなさん知ってますか？浦高の周りには、いろいろな種類の植物があるのです。
- 角海先生、世界の国々についていっぱい知識をつけました。ありがとうございます。
- 自分体力の限界を知った。
- はんだごてに生まれて初めて使った。
- 星座の知識以上に寿浦先生の語ってくれたエピソードが楽しかった。地元でも星空が存在することを今更ながら知り、星座の持つストーリーをたっぷりと身につけた。
- 切り絵はアートです。また、実社会に役立ちます。ものすごく楽しかった。もっとやりたかった。家でもやってますよー。
- 漫画しか読まなかった僕が、小説に夢中になってしまいました。
- ブラインドウォーク楽しかった。
- センター試験の英語力。難しかったけどためになりました。

「チャレンジレッスン」 指導教諭の感想 < SST の授業を終えて >

本年度転勤してきて、SC の原田先生から「SST の授業をやってみませんか？」とお声を掛けて頂き、「浦安高校と生徒のためになるのなら…」とやらせて頂くことになった。

木曜 5 限の総合学習の時間に、社会性を身に付けることを目標として「SST 講座」を 1 学年の各クラスから、男子 7 人・女子 7 人の計 14 人の希望者で、半年間（10 セッション）行った。1 回目のガイダンスでは、対人関係の苦手さを誰もが持っていることを確認し合い、「話すのが下手な自分が、どんな人とでも話せるように変わりたい。」という共通の目標を持って、学習のモチベーションを高めることができた。だが、緊張感が高く、落ち着かない雰囲気だった。

2 回目の「自己紹介」のホームワークを学年の先生方に協力して頂いて行った為、毎回あるホームワークを楽しくできる契機となった。その後、3 回「コミュニケーション」、4 回「聴く」、5 回「自尊心」、6 回「敬意」、7 回・8 回「感情のコントロール I・II」、9 回「計画を立てて実行する」等のスキルを、ウォーミングアップ、言語的教示、モデリング、ロールプレイ、フィードバック、ホームワークの順に行った。5・6・7 回は 14 人が全員揃い、安心してスキルを練習できるリレーションができた実感を持てた。（4 回から 9 回までを船橋法典高校の先生方が見学された。）

10 回の最終回のまとめでは、お互いが各自の課題を克服して成長できたことを喜んで感謝し合い、今後に向けて励ましの言葉を掛け合い、終始拍手が沸き起こる、あたたかい雰囲気に包まれて終了することができた。最後の話し合いでは、自分の気持ちを的確に言語化して話し合っていた。

多く見られた意見は、「最初は SSTなんて…と思っていたけど、回を重ねてみんなに受け入れられていくうちに、構えなくても、弱味を見せてもいいんだと分かってきて、照れずに自然に友達と接することができるようになった。」「伝え方次第で受け取り方が全然違うこと、人は全て受け取り方が違うことが分かって良かった。」「上手に聴くことができてことによって、友達が自分に色々な話をしてくれるようになって、友情を深めることができた。それで、自分の話もよく聴いてくれるようになって、自信が持てるようになった。」「学習していくうちに、自分の良い所が沢山見つけられるようになり、同時に友達のポジティブな面も沢山発見できるようになった。自分が変わると、周りも変わるのが楽しくて、これで終わるのは本当に残念。来年もぜひやりたい。」等であった。認知・感情・行動面などの全ての面で変化が見られ、「振り返りシート」の感想からも、よく自分の気持ちと向き合い、自分の感情の変化に気付けるようになったことが理解された。日常生活を見ている、授業時に自主的に挙手して発言してくれたり、否定的な言葉を発した友達に対して上手にフォローしたり、宿題を計画的にきちんとやって提出したりする等、般化が見られた。

以上のようなことから（詳細は測定尺度の結果を待たなければならないが）、今回 SC の先生とねらった「対人関係や自尊心などの感情の認知的な側面に焦点を当てる」という目標は、取りあえず成果を挙げたと感じる。また、高校生の発達課題の 1 つである役割取得能力 IV も、概ねの生徒が獲得しつつあると思う。14 人のメンバーが中心となって、各クラスで広めつつ、維持していけるよう、これからも強化・フォローに努めていきたいと思っている。